



平成29年7月31日

各 位

会社名 アピックヤマダ株式会社
代表者名 代表取締役社長 押森 広仁
(コード番号 6300 東証二部)
問合せ先 取締役企画部長 小出 篤
(TEL. 026-275-2111)

(訂正) 「平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成27年8月7日に開示いたしました「平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正内容及び理由

訂正内容及び理由につきましては、本日公表の「過年度の有価証券報告書等及び決算短信等の訂正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後の全文を添付し、訂正の箇所には下線を付して表示しております。

以上

(訂正後)



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 アピックヤマダ株式会社
 コード番号 6300 URL <http://www.apicyamada.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 押森 広仁
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画部長 (氏名) 小出 篤 TEL 026-275-2111
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月12日
 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|---|------|---|----------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年3月期第1四半期 | 2,346 | 0.9 | △174 | - | △148 | - | △153 | - |
| 27年3月期第1四半期 | 2,325 | 19.1 | △86 | - | △112 | - | △106 | - |

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 △133百万円(-%) 27年3月期第1四半期 △146百万円(-%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期第1四半期 | △12.32 | - |
| 27年3月期第1四半期 | △8.59 | - |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 28年3月期第1四半期 | 11,650 | 4,159 | 35.7 | 334.85 |
| 27年3月期 | 12,292 | 4,293 | 34.9 | 345.59 |

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 4,159百万円 27年3月期 4,293百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期 | - | 0.00 | - | 0.00 | 0.00 |
| 28年3月期 | - | | | | |
| 28年3月期(予想) | | 0.00 | - | 0.00 | 0.00 |

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|------|------|-------|------|------|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 5,400 | △4.4 | △150 | - | △140 | - | △150 | - | △12.07 |
| 通期 | 11,900 | 5.0 | 210 | 114.3 | 240 | 93.5 | 210 | 156.1 | 16.90 |

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 28年3月期1Q | 12,969,000株 | 27年3月期 | 12,969,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 28年3月期1Q | 547,900株 | 27年3月期 | 546,184株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 28年3月期1Q | 12,421,811株 | 27年3月期1Q | 12,424,290株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手できる情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国では雇用や個人消費が引き続き好調で景気は堅調に推移した一方、中国では減速基調が続いており、また欧州においてもギリシャの債務問題があり、景気にもたつき感が出ています。

一方、わが国経済は、円安による企業業績の改善や設備投資の増加がみられるものの、個人消費の回復は依然弱く、横ばいの状況で推移しました。

当社の需要先である半導体業界においては、大手メーカーが2015年度の半導体設備投資計画を下方修正したことを皮切りに、設備投資に関しては一転慎重な見方が広まりました。一方、先端パッケージ分野に関しては先行投資を含め、引き続き前向きな動きが見られました。こうした環境の中で、当社グループはWLP（ウエハーレベルパッケージ）をはじめとする先端パッケージ分野及び車載向けパッケージ分野などに関して、積極的な技術開発と拡販活動を行いました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,346百万円（前年同四半期比0.9%増）、営業損失は174百万円（前年同四半期は営業損失86百万円）、経常損失は148百万円（前年同四半期は経常損失112百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は153百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失106百万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①電子部品組立装置

電子部品組立装置の受注環境につきましては、半導体後工程の新規パッケージ向け設備投資や自動車関連向け装置、電子部品向け装置が引き続き堅調な動きとなり、WLPやGTM-Xを中心としたモールド装置及びリード加工機が受注を牽引しました。一方、新規開発装置で一部仕様変更を実施し、そのコストが嵩んだこと等により、前年同四半期に比して利益面を圧迫しました。

この結果、売上高は1,602百万円（前年同四半期比8.8%増）、セグメント利益は42百万円（前年同四半期比63.5%減）となりました。

②電子部品

新規事業として取り組み、売上が急増していたLEDプリモールド基板事業で、生産品種の入れ替えが発生したことによる受注の減少等により、前年同四半期に比し売上が減少しました。

この結果、売上高は533百万円（前年同四半期比28.4%減）、セグメント損失は67百万円（前年同四半期はセグメント損失60百万円）となりました。

③その他

その他につきましては、リード加工金型及びリードフレーム用生産金型の販売であります。リード加工金型に関して、一部新規金型で改善・改造費用が発生し、利益を圧迫しました。

この結果、売上高は210百万円（前年同四半期比93.7%増）、セグメント損失は1百万円（前年同四半期はセグメント利益7百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、11,650百万円（前連結会計年度末は12,292百万円）となり、前連結会計年度末と比較して642百万円減少いたしました。これは主に、売掛金の減少によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、7,491百万円（前連結会計年度末は7,999百万円）となり、前連結会計年度末と比較して508百万円減少いたしました。これは主に、短期借入金の減少及び買掛金の減少によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、4,159百万円（前連結会計年度末は4,293百万円）となり、前連結会計年度末と比較して133百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による利益剰余金の減少によるものであります。

なお、これらの要因により、自己資本比率は35.7%（前連結会計年度末は34.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年5月14日の「平成27年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,328,689 | 2,245,234 |
| 受取手形及び売掛金 | <u>3,193,876</u> | <u>2,875,472</u> |
| 商品及び製品 | <u>890,255</u> | <u>1,011,041</u> |
| 仕掛品 | 1,826,401 | 1,741,888 |
| 原材料及び貯蔵品 | 145,190 | 150,500 |
| その他 | 263,068 | <u>86,264</u> |
| 流動資産合計 | <u>8,647,481</u> | <u>8,110,401</u> |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 1,009,142 | 989,025 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 511,584 | 496,261 |
| 土地 | 511,589 | 511,589 |
| その他 | 272,036 | 228,683 |
| 有形固定資産合計 | <u>2,304,352</u> | <u>2,225,560</u> |
| 無形固定資産 | 85,909 | 83,268 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 1,260,366 | 1,236,517 |
| 貸倒引当金 | <u>△5,160</u> | <u>△5,160</u> |
| 投資その他の資産合計 | <u>1,255,205</u> | <u>1,231,356</u> |
| 固定資産合計 | <u>3,645,467</u> | <u>3,540,185</u> |
| 資産合計 | <u>12,292,949</u> | <u>11,650,586</u> |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 2,442,684 | 2,104,406 |
| 短期借入金 | 3,362,000 | 3,120,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 191,688 | 181,488 |
| 未払法人税等 | 26,543 | 5,702 |
| 賞与引当金 | 104,170 | 47,446 |
| 製品保証引当金 | <u>37,538</u> | <u>42,160</u> |
| その他 | <u>646,340</u> | <u>875,157</u> |
| 流動負債合計 | <u>6,810,964</u> | <u>6,376,362</u> |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 203,258 | 160,286 |
| 退職給付に係る負債 | 762,628 | 743,283 |
| その他 | 222,945 | 211,413 |
| 固定負債合計 | <u>1,188,831</u> | <u>1,114,982</u> |
| 負債合計 | <u>7,999,796</u> | <u>7,491,345</u> |

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,837,500 | 5,837,500 |
| 利益剰余金 | <u>△1,379,961</u> | <u>△1,533,053</u> |
| 自己株式 | △100,434 | △100,812 |
| 株主資本合計 | <u>4,357,103</u> | <u>4,203,633</u> |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 32,068 | 34,108 |
| 為替換算調整勘定 | △61,694 | △46,653 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △34,324 | △31,847 |
| その他の包括利益累計額合計 | <u>△63,950</u> | <u>△44,392</u> |
| 純資産合計 | <u>4,293,153</u> | <u>4,159,240</u> |
| 負債純資産合計 | <u>12,292,949</u> | <u>11,650,586</u> |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 2,325,654 | 2,346,381 |
| 売上原価 | 1,887,411 | 1,962,948 |
| 売上総利益 | 438,243 | 383,433 |
| 販売費及び一般管理費 | 524,678 | 558,418 |
| 営業損失(△) | △86,435 | △174,985 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 1,345 | 1,659 |
| 為替差益 | - | 1,327 |
| 受取技術料 | 2 | 5,663 |
| 受取補償金 | - | 46,093 |
| その他 | 26,218 | 14,973 |
| 営業外収益合計 | 27,565 | 69,716 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 17,415 | 19,136 |
| 持分法による投資損失 | 20,280 | 21,658 |
| その他 | 16,105 | 2,568 |
| 営業外費用合計 | 53,802 | 43,363 |
| 経常損失(△) | △112,672 | △148,632 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 8,127 | 436 |
| 特別利益合計 | 8,127 | 436 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △104,544 | △148,195 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,158 | 977 |
| 法人税等調整額 | △9 | 3,918 |
| 法人税等合計 | 2,149 | 4,896 |
| 四半期純損失(△) | △106,693 | △153,092 |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △106,693 | △153,092 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日) |
|------------------|---|---|
| <u>四半期純損失(△)</u> | <u>△106,693</u> | <u>△153,092</u> |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,872 | 2,040 |
| 為替換算調整勘定 | △22,701 | 15,851 |
| 退職給付に係る調整額 | 2,386 | 2,476 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △21,919 | △810 |
| その他の包括利益合計 | <u>△39,362</u> | <u>19,557</u> |
| 四半期包括利益 | <u>△146,056</u> | <u>△133,534</u> |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | <u>△146,056</u> | <u>△133,534</u> |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

「II 当第1四半期連結累計期間 4. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおりであります。

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 合計 |
|-----------------------|--------------|---------|------------|-----------|
| | 電子部品 組立装置 | 電子部品 | その他 (注) | |
| 売上高 | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,472,144 | 744,789 | 108,720 | 2,325,654 |
| セグメント間の内部売上高又は 振替高 | 36,917 | 2,711 | 16,114 | 55,742 |
| 計 | 1,509,062 | 747,500 | 124,834 | 2,381,397 |
| セグメント利益又は損失(△) | 115,162 | △60,745 | 7,822 | 62,239 |

(注)「その他」の区分は、リード加工金型及びリードフレーム生産用金型の調達・販売等を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び該差額の主要な内容(差額調整に関する事項)

(単位：千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|----------|
| 報告セグメント計 | 62,239 |
| セグメント間取引高消去 | — |
| 全社費用(注) | △148,674 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | △86,435 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 合計 |
|-------------------|--------------|---------|------------|-----------|
| | 電子部品 組立装置 | 電子部品 | その他 (注) | |
| 売上高 | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,602,365 | 533,456 | 210,559 | 2,346,381 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 18,874 | 6,377 | 2,370 | 27,622 |
| 計 | 1,621,240 | 539,834 | 212,929 | 2,374,004 |
| セグメント利益又は損失(△) | 42,040 | △67,590 | △1,821 | △27,370 |

(注)「その他」の区分は、リード加工金型及びリードフレーム生産用金型の調達・販売等を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び該当差額の主要な内容(差額調整に関する事項)

(単位:千円)

| 利益 | 金額 |
|--------------------|----------|
| 報告セグメント計 | △27,370 |
| セグメント間取引高消去 | - |
| 全社費用(注) | △147,614 |
| 四半期連結損益計算書の営業損失(△) | △174,985 |

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、半導体製造装置、金型、リードフレーム及び各種電子部品等の製造販売を主要な事業としております。前連結会計年度から、「その他」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。従って、当社はこれらを基礎とした製品別のセグメントから構成されており、「電子部品組立装置事業」「電子部品事業」及び「その他事業」の3つを報告セグメントとしております。

「電子部品組立装置事業」は、モールドング装置、リード加工機及びモールド金型等の製造・販売、「電子部品事業」は、リードフレーム及び電子通信部品等を製造・販売、及び「その他事業」は、リード加工金型及びリードフレーム生産用金型の調達・販売等であります。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。